



組織破壊を目的とした怪文書(第3弾)が出回る！ 相変わらずの稚拙な文書とマヌケぶい！

またもや、新幹線地本組合員宅に陳腐な文の怪文書が送られてきました。内容は、これまでの繰り返しで、極めて薄っぺらいものです。よほどネタが無いようです。受け取った組合員からは、「マヌケだね」の声が相次いでいます。しかし、今回は、何人かの封筒に肝心の切手を貼り忘れるという、更なるマヌケぶりを発揮しています。

怪文書は、封筒に3枚入っていましたが、J R 東海労の分裂が目的であるため、内容は陳腐で事実をねじ曲げた内容に過ぎません。いちいちの反論する価値もありますが、あまりに非道なので、事態の認識ができない制作者にいくつかの指摘をしておきます。

第一に、「J R 東海ユニオンとも『二重加盟』？」なる見出しで、「J R 連合とも『二重加盟』を考えているらしい。」としています。当然のことながら、J R 東海労がJ R 連合との二重加盟をして何の利益になるのか？まったくの根拠のないことをあげつらっています。

第二に、「いつからこんな『情けない組合』になったのか？」では、「『OB会は分会や班などJ R 東海労の一機関ではありません』と言っている。つまりは『余計な口出しはする』なということらしい。」としています。まだ、OB会の立場を理解していないようです。OB会とは、現職の運動を補完し、会員相互の親睦を深めるための団体です。現職の運動方針を変える権限はないのです。

第三に、「『J S 労を解散させる？』嘘の情報を流すJ R 東海労？」の中で、「J R 東海労ニュース (No.2852) では事実を変えて嘘のフェイク情報が流されています。」と、記載し「②J S 労を認めない(解散させる)」と「『認めない』とか『解散させる』などと、問題をすり替えて、組合員に反J R 総連へと扇動しています。」と、意味不明の主張をしています。どうやら、怪文書の作成者は、J R 東海労ニュースNo.2852で新幹線地本OB会が主張している内容を要約したものを、J R 東海労の主張と取り違えたようです。読解力の無さには呆れますが、怪文書だから事実関係なんてどうでも良いのでしょう。

新幹線地本OB会のある人は、「いろんな意見があっていい」「言いたいことがあっても名前を名乗って言えない人がある」などと、怪文書を肯定しています。どおりで、OB会総会での新幹線地本OB会員の発言と、怪文書の展開が非常に似ているわけです。

J R 東海労組織破壊を目的にした怪文書による攻撃を許さない闘いを強化しましょう！